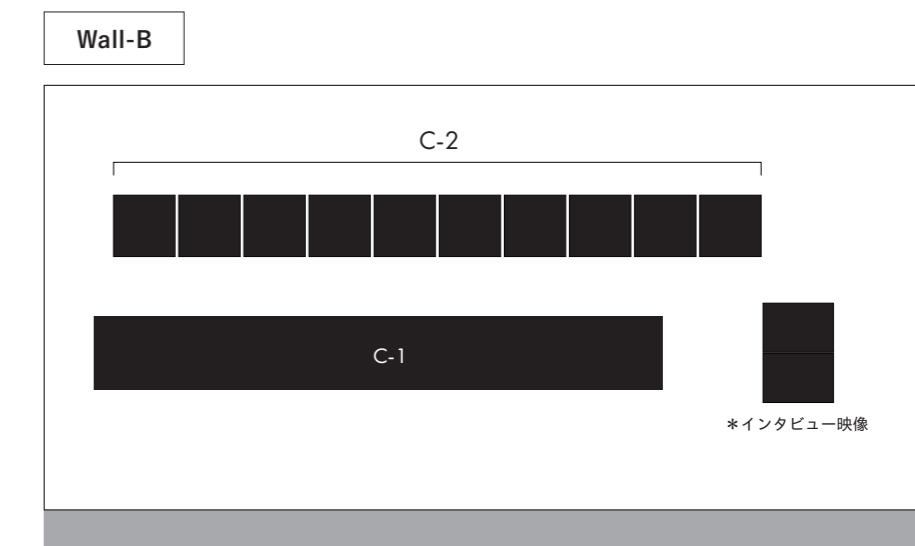
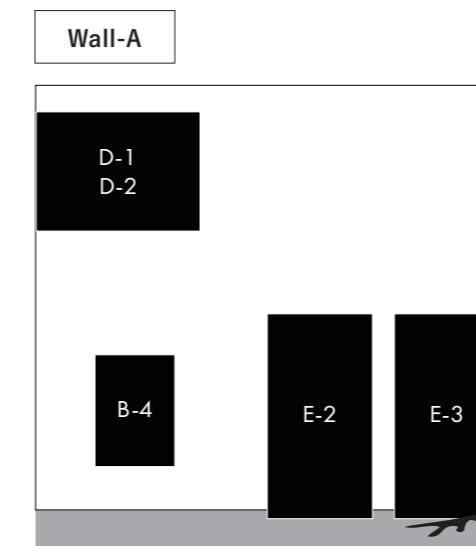
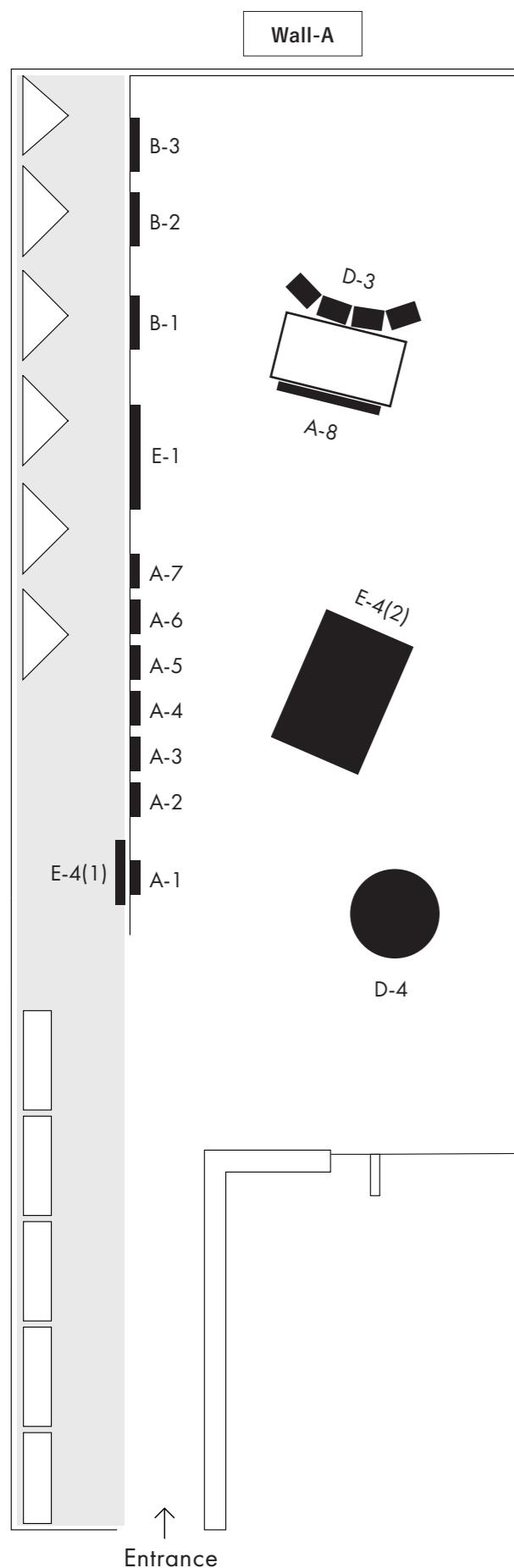


Black Point 2025.9.4(木) – 9.15(月・祝)

作品リスト 各作品について、作品名／制作年／素材／サイズを記した。全て作家蔵。

BUG



A-8 : エリア・パク
夢で見た滝
2017
C-print
H102.5×W125cm each

B-3 : キム・ジミン
Line of Silence No.123
2024
Ink, Metal leaf and Mixed media on Canvas
H116.8×W80.3cm

D-1 : チョン・ソンジン
Cave
2023
3D animation, color, sound
5 minutes 36 seconds

D-2 : チョン・ソンジン
Intersection 25-1
2025
3D animation, color, sound
5 minutes 3 seconds

B-4 : キム・ジミン
Line of Silence No.97
2022
Ink, Metal leaf and Mixed media on Canvas
H116.8×W80.3cm

E-2 : チェ・ソン
Salt Tells; Taste of North Korea
2025
Salt made from seawater near the Korean DMZ on cloth
H270×W150cm

E-3 : チェ・ソン
Black Painting
2025
Oil on canvas
H194×W130cm

C-1 : チョン・ヨングク
Fantasia
2015
Scratch on Mirror film
Variable dimensions

C-2 : チョン・ヨングク
Flow
2021
Ink on Korean paper
H90×W90cm

D-3 : チョン・ソンジン
Drift
2025
24-inch panels (x4), aluminum profiles 3D print, LED bar
H120×W230×D40cm

A-8 : エリア・パク
夢で見た滝
2017
C-print
H102.5×W125cm each

E-4 : チェ・ソン
Butterflies (1,2)
1 - finished (window)
2 - not finished (on going)
2024-2025
Ink on canvas,
H204×W140cm

D-4 : チョン・ソンジン
Dream telescope
2024
Aluminum profiles, 3D print, 24-inch panels (x8), hologram projector, acrylic
Variable dimensions

* インタビュー映像

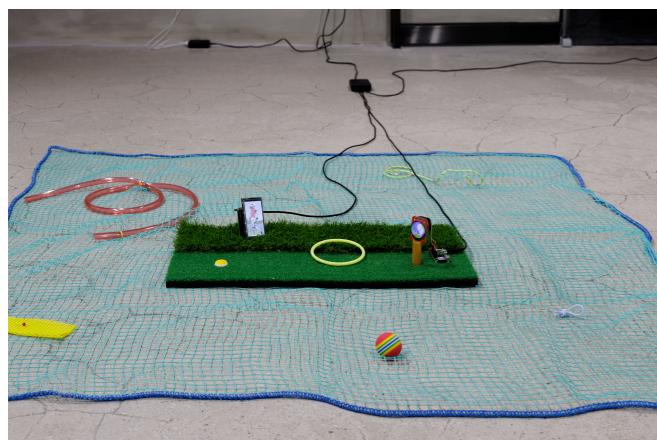
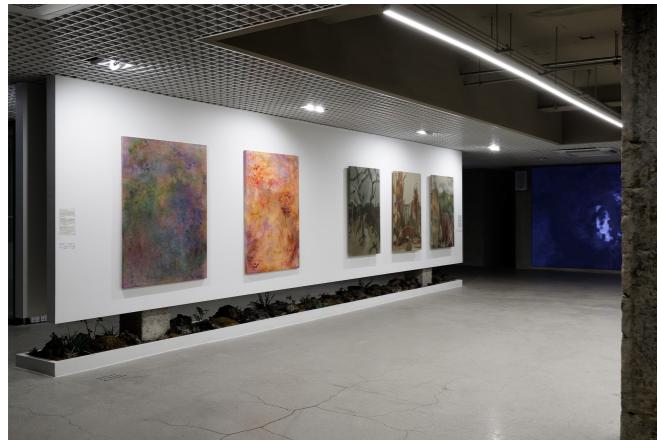
今回はBUGが韓国のSahng-up Galleryを迎える、韓国アーティストたちのグループ展を開催します。Sahng-up Galleryは、持続的な活動のための商業的視点と、新進アーティストの実験的な取り組みを歓迎する非営利的視点のバランスを取りながら、ソウルにて2つのギャラリーを運営しています。複数の視点からアート業界のエコシステムを育もうとするSahng-up Galleryの活動は、展覧会や公募プログラム、労働環境の整備などさまざまな面からアーティスト/アートワーカーの持続的なキャリア支援を志すBUGの活動と、方法は異なれど重なる側面があります。そこで今回は二国間の交流を通じ、相互に示唆を得る機会として本展を企画しました。

ヤン・チャンジェ 양찬제 Chanje Yang (Sahng-up Gallery オーナー・キュレーター)からのコメント

Black Pointでは「黒」という絶対的な色に注目し、同時代のアーティストたちの感覚的な解釈と実験的な態度を浮き彫りにする展覧会です。5名の参加アーティストたちは、墨の美学と色への哲学を基盤に、絵画、写真、インсталレーションなど多様なメディアを通じて黒が持つ思惟と物質性を探索していきます。

私たちの環境は無数の色で構成され、その中でも「黒」は依然として最も根源的な色として位置づけられています。すべての色を吸収した先に到達する黒は、単なる闇や不在ではなく、むしろあらゆる可能性を潜在させた総合的な存在だと言えるでしょう。先史時代の壁画から現代の抽象絵画に至るまで黒は時代を横断し、様々な方法で芸術の中に召喚されてきました。特に、東アジアの伝統絵画において中心的な材料であった墨は、たった一つの色で世界を表現しようとする哲学的な視点の象徴でもあります。本展では「黒」という物理的でありながら哲学的な色を一つの概念として捉え直し、現代芸術の中でその意味がどのように拡張されているのかを明らかにしようと試みます。

キム・ジミンは東洋と西洋の文化的要素を再構成しながら絵画として展開し、チョン・ソンジンは3Dグラフィックを活用して、夢と無意識の中で構築された空間を表現します。チョン・ヨングクは墨をもとにした材料の実験と絵画的構築を試み、チェ・ソンは反復行為とジェスチャーを通じて概念と実践が交差する構造を作り上げます。またArea Parkは手作業を通じて生み出す白黒プリントの写真により、感光性と残余性について探索していきます。



また本展に先駆け7月4日～25日には、ソウルのH.Art1（ハナ銀行が運営するギャラリー）にて、第1回BUG Art Awardのファイナリストの彌永ゆり子、宮内由梨がグループ展に参加しました。また9月5日には、「アジアにおけるアーティスト・イン・レジデンスの現在」というトークイベントをBUGにて開催します。今回のSahng-up galleryとの交流を機会に、BUGでは新しい展開を模索していきます。

「Black Point」

会期：2025年9月4日(木)～9月15日(月・祝)

キュレーション：ヤン・チャンジェ 양찬제 (Sahng-up Gallery オーナー)

運営：片野可那恵、野瀬綾 (BUG)、リ・ホジュン 이호준 (Sahng-up Gallery)

制作：飯野優美、堀田ゆうか (BUG)

広報：桑間千里、野瀬明子 (BUG)

告知物デザイン：Na Kyoung Lee 이나경 (Sahng-up Gallery)

翻訳：〈英訳〉鈴木里穂、〈日訳〉Jeong Pilhwan

インタビュー映像撮影：シム・ソンヨン 심선용 (Sahng-up Gallery)

会場撮影：西野正将

設営サポート：畠山樹 (BUG)

